

# 三重県飯南郡飯高町田引方言 の比喩語について

岸江 信介

はじめに

1. 調査対象地：飯高町は、三重県松阪市の西部に位置し、近くに奈良県境がある。田引集落は、櫛田川沿いにある集落の一つで、飯高町のほぼ中央部にある。産業は、林業の他にお茶・しい茸の栽培が主である。松阪市までは国道166号線を走って約60分の所要時間である。戸数は、160戸、人口は約450人くらいである。
2. 調査年月日：1992年8月16日午前11時45分～午後12時30分
3. 話者：脇谷 規（大正8年2月9日生）（男性）他、2名（女性1名、男性1名）
4. 調査者・調査場所：岸江信介、話者自宅。
5. 調査方法・調査時の様子：調査票に基づいて尋ねた。同席者の方々にも積極的に回答して頂いた。

## I 《 自然現象 》

- 1 日照り雨 キツネノ「ヨメイリ（狐の嫁入り）〈名詞〉
- 2 入道雲 「ニュードーㇿグモ（入道雲）〈名詞〉
- 3 旋風 「マイマイㇿカゼ（旋風）〈名詞〉
- 4 霜柱 「シモバㇿシラ（霜柱）〈名詞〉
- 5 つらら ツラ「ラ（つらら） 〈名詞〉
- 6 北斗七星 「ホクトヒㇿチセー（北斗七星）〈名詞〉
- 7 昴 N. R.（無回答を示す）
- 8 流れ星 「ナガレㇿボシ〈名詞〉

## II 《 動物 》

- 9 かわはぎ N. R.
- 10 ひらめ ヒ「ラメ〈名詞〉
- 11 ひきがえる ク「ツㇿゴト〈名詞〉
- 12 青大将 クチ「ナㇿワ（口縄）〈名詞〉  
長くて口がある縄。  
「ネズミトㇿリ（鼠取り）〈名詞〉  
ねずみを捕らえ、食用としているというところから、このように呼ばれる。  
「ジマワリ（地回り）〈名詞〉  
土地土地を回るということから、このような比喩語がある。  
「ジマワリ ナㇿー 「ウㇿチノ 「マモリガミサンミㇿタイニ

「オモテマシ」タ　ンカシテ　「ナ」ー。(地回りを家の守り  
神さんみたいに思っていましたのかねえ。)

- 13 とかげ　「トカ」ケ〈名詞〉  
14 かまきり　カ「マ」キリ〈名詞〉  
15 みずすまし　「ゲンゴロー」〈名詞〉  
16 きつつき　「キ」ツツキ〈名詞〉  
17 せきれい　セキ「レ」ー〈名詞〉  
18 ふくろう　フ「ク」ロ〈名詞〉〈名詞〉

### III 《 植物 》

- 19 馬鈴薯　「ニドイモ」(二度芋)〈名詞〉  
年に二度取れるからニドイモ。  
20 とうもろこし　「ナ」ンバ〈名詞〉  
21 いんげん豆　ササ「ゲ」〈名詞〉, ササ「ギ」〈名詞〉  
「ニドナリ」(2度成り)〈名詞〉  
ニドナリは、夏と秋、2度採れるという意味。  
「ナ」ツト　ア「キ」グライニ　トレル「モ」ンデ　「ニドナリ」  
「ト」モ　「イ」マシ「タ」ケド　「ナ」ー。(夏と秋ぐらいに2度  
採れるものだからニドナリとも言いましたけどねえ)  
22 そら豆　ソ「ラ」マメ〈名詞〉  
23 木くらげ　「キク」ラゲ〈名詞〉  
24 げんのしょうこ　「ゲン」ノショ「ー」コ〈名詞〉  
25 どくだみ　「ジュ」ヤ「ク」〈名詞〉  
26 いたどり　イタン「ド」リ〈名詞〉  
27 からすうり　「カラ」ス「ウ」リ〈名詞〉  
28 すみれ　「スミ」レ〈名詞〉  
29 春蘭　「ジジババ」(爺婆)〈名詞〉  
30 母子草　N. R.  
31 ねむの木　「ネム」〈名詞〉

### IV 《 性向 》

- 32 熱しやすく冷めやすい人　N. R.  
33 あわてん坊　アワ「テ」〈名詞〉  
34 動作の鈍い人　ノロ「マ」(のろま)〈名詞〉, 「ド」ンケチ〈名詞〉  
「ド」ン〈名詞〉, 「ドンクサ」イ(鈍くさい)〈形容詞〉  
ドンケチ、ドン、ドンクサイ等のドンは、「鈍」を意味する。こ  
のなかではドンが最もよく用いられる。

ニバ「ン(2番)〈名詞〉

何をやっても動作が鈍いので、1番にはなれず、いつも2番というところからニバンという比喩語が生じた。

「アイツワ」 ニバン「ヤ」 ニ。(あいつは2番[動作が鈍い人]だよ)

35 嘘つき 「ウソタレ(嘘たれ)〈名詞〉

36 ほらふき 「イッタンブ」ロシキ(一反風呂敷)〈名詞〉

一反は成人1人分の和服が作れる布の長さだから相当な大きさである。ほらのおおげさを風呂敷の大きさに喩えたもの。

「フロシキ ヒロゲル(風呂敷広げる)

「ほらをふく」という意味で用いられる。

37 おしゃべり 「クチ」ハッショー(口八丁)〈名詞〉

ヨー 「ベ」ンガ タ「ツ(よく弁が立つ)

揶揄した形で「おしゃべり」を喩えたもの。

38 冗談言い 「クチノ」 エー 「ヤ」ツヤ(口のいい奴だ)

クチガエーというのも先のベンガタツと同様にその意味をそのままとれば、誉めことばだが、揶揄した形で婉曲的に言ったものである。

39 口先だけの人 「コジキノ」 オカ「イ(乞食のお粥)〈名詞〉

乞食のお粥は、具がなくて湯ばかりということから、口先だけの人のことをこのようにいう。

「コジキノ」 オカイ「ワ ユ「ー」バッカヤ。「ミガ」 ナ「イ。(乞食のお粥は、湯ばかりだ。実がない)

40 とんちんかんなことを言う人 ニ「ハ」ン(とんちんかんなことを言う人)〈名詞〉

ニハンは二半で、まともな者を1とすると、その半分程度であるということをついたもの。

「イ」チオ 「ハンブ」ンニ 「ワ」ッタ ヤ「ツ。

(1を半分に割った奴)

「チンブンカンブン(ちんぶんかんぶん)〈名詞〉

「トンチンカン(名詞)

41 のりりくらし煮えきらない人 「ニエキラン ヤ」ツ(煮え切らない奴)

42 怒りっぱい人 カン「ツ」ー〈名詞〉

頭にすぐカッとくる人。癪が強いというところからこのように言う。

- 43 気むらな人 オテンキ「ヤ（お天気屋）〈名詞〉  
 天気と同じで非常に変わりやすいことからこのような比喩語が生まれた。
- 44 泣き虫 ベソ「カヲキ〈名詞〉，ベ「ソヲー〈名詞〉
- 45 おてんば娘 バンバラ「バヲン〈名詞〉
- 46 腕白坊主 「ドンナヲラン〈どうにもならない〉  
 「ドンナヲランは、「ドムナヲランとも言う。  
 「ドンナヲラン ガキヤ 「ナヲー。（どうにもならない〔腕白な〕がきだねえ）  
 ヤリタ「ボヲーズ〈名詞〉
- 47 出しゃばり サイコ「ヤヲキ〈名詞〉  
 サイコオ 「ヤクともいう。  
 サイコの語源は不明。意味は出しゃばること。
- 48 どこへでも顔を出す人 キンキ「ンヲバエ（金蠅）〈名詞〉  
 金蠅は食べ物があればすぐに寄ってたかってくるということからどこへでも顔を出す人に喩えている。  
 「アイツワヲ キンキ「ンヲバエヤ 「ナヲー。ド「コヲエデモ  
 「カオヲ ダシトヲル。
- 49 家にもって外出しない人 「デギヲライ（出嫌い）〈形容詞〉  
 「デブショー（出不精）〈名詞〉
- 50 小心者 「ショーシンモン〈名詞〉
- 51 内弁慶 「ウチベヲンケー（内弁慶）〈名詞〉  
 「ヒトナカエ イヲッタラ チッコ「一ヲ ナッテ 「ウヲチ  
 デ バッカヲー 「ベヲンケー ナッ「テヲ サ「ナヲー。（人中へ行ったら小さくなって内ではばかり弁慶になっているだね）  
 「ウチベヲンケーノ ソトス「ボヲリ（家の中では強がっているが、外では小さくなること）  
 スポリは、スポル（小さくなる）の名詞化したもの。共通語の「すぼむ」に対応する。
- 52 人づき合いのしない人，社交性のない人 「ヒトヅキアイノ ワヲルイ ヒヲト
- 53 妻に対して頭の上がない男 「シヲリニ 「ヒカレル（尻に敷かれる）
- 54 けち シブ「チヲン〈名詞〉，「コマカヲイ（形容詞）
- 55 欲張り 「ゴーヨク〈名詞〉  
 「強欲」という意味で使われる。

- 56 大食漢 「オーグイシ（大喰い師）〈名詞〉，「ガキガ ツイ」トール（餓鬼がついている）  
まるで餓鬼にとり憑かれているように大食すること。
- 57 ぼたもち フ「チリン（不知隣）〈名詞〉，「トナリシラズ（隣知らず）〈名詞〉  
フチリン、トナリシラズともに「不知隣」。餅ならば、ペタンペタンと搗く音ですぐ隣に知れるが、ぼたもちの場合は、搗くことがないからフチリン、トナリシラズなのである。
- 58 砂糖味が薄い 「サトヤノ カド トーッタ。（砂糖屋の角通った）  
砂糖屋の角を通るというのは、甘味が薄い時の比喩。
- 59 塩味が薄い 「ミズクサイ（水臭い）〈形容詞〉  
「シオスライ（塩の味加減をみること）をして塩味を確かめ、塩味が足りない時にミズクサイという。
- 60 大酒飲み 「ジャ（蛇）〈名詞〉  
ジャは、蛇のことで大酒飲みを喩えたもの。
- 61 酒に酔ってくだをまく クダ「マキ〈名詞〉
- 62 酒に酔って顔が赤くなる。そのさま N. R.  
「マワッテ キタ（回ってきた）」といった言い方で表現されることが多い。

## VI 《 動作・様態 》

- 63 恥ずかしくて顔が赤くなる。 「セキメン（赤面）〈名詞〉
- 64 どしゃ降りの雨 「ドシャブリ〈名詞〉，「オーブリ（大降り）〈名詞〉
- 65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる。そのさま ビシヨヌ「レ〈名詞〉，ズブヌ「レ〈名詞〉  
「ヌレネズミ（濡れ鼠）〈名詞〉  
ヌレネズミは、びしょ濡れになっている様を濡れた鼠に比喩したもの。
- 66 服装がだらしないさま ダラシ「ナイ〈形容詞〉
- 67 髭がのび放題なさま 「ブショーヒゲ（不精ひげ）〈名詞〉
- 68 厚化粧をしている人 「シラカベ（白壁）〈名詞〉  
白い壁を厚化粧に喩えたもの。
- 69 背丈の高い人 ノッ「ボ（のっぼ）〈名詞〉  
「ゾビエトル（聳びえている）〈動詞〉  
聳えるほど背が高いということを使ったもの。語頭音が有声音となっている点がポイントで、背の高い人を軽卑した表現である。

- 70 出びたい           デ「ツ」ー〈名詞〉  
 デ「ツ」ーヤデ エー「アマヤ」ドリガ 「デ」ケル 「ネ」ー。  
 (出びたいだからいい雨宿りができるねえ)
- 71 汗がひたいから流れ落ちる アセ「カ」キ〈名詞〉
- 72 目を丸くする       メオ 「マ」ウス(目をまわす)〈名詞〉
- 73 口をとがらす       ヘ「ソ」マ「ガ」リ(へそ曲がり), コ「ジ」ル(不平)〈名詞〉老  
 コジルは、不平・不満の表情を表すのではなく、不平、不平を言  
 う者を意味する。  
 「話がこじれる」といった時の「こじれる」と関連があろうか、  
 語源不明。
- 74 焦げ臭いにおい   「コゲクサ」イ〈形容詞〉, 「カンコクサ」イ〈名詞〉  
 コゲクサイは、どんなものでも焦げた場合に使うが、「カンコク  
 サ」イは、ほろ切れ、布などが焦げた場合に限定される。
- 75 遠回り           ドピンノ 「ツ」ル(土瓶の鉉)〈名詞〉  
 土瓶の鉉の部分を通るということから遠回りを意味する。
- 76 末っ子           オトン「ボ」ー〈名詞〉
- 77 一生懸命頑張る   「ガンバリヤ」(頑張り屋)〈名詞〉

【総括(まとめ)の叙述方法】

調査項目のうち、共通語と同形の回答があったものについては、その語形のみをアクセントをつけて掲げることとし、解説を施さなかった。なお、項目の中で、比喩語とは認められないものについても、あえて方言形を掲載することにした。また、比喩語であるかどうか認定することができないものについては、回答された語形を掲げるだけに留め、解説を保留した。

比喩語の造りの上では、師、屋、者等の接辞が添えられたものがあるほか、軽卑的な意味合いが込められているためか、省略形のような語(カンツ、ニバン、ニーハン等)が認められた。発想上では、主に、動物名などが含まれる語に喩えられたケース(ネズミトリ、キツネノヨメイリ、ヌレネズミ、キンキンバエ、ジャ等)が多いことが指摘できる。

比喩語(広く比喩表現)の中には、その形状や現象、その他行動などをそのまま直接、別の言葉に喩えて置き換えるケースもあるが、「おしゃべり」などの比喩表現にみられるように、揶揄する気持ちを込めて、それが表している意味とはむしろほぼ逆の意味を持つ表現(ベンガタツ、クチノエーヤツヤ)や直截的な表現を迂回するための言い回し(オテンキヤ、シラカベ)が好まれて用いられることもあるようだ。